

占春会報

第14号

発行 八尾市大字千塚102
占春会事務局

大阪府立清友高等学校
TEL (0729)41局3456

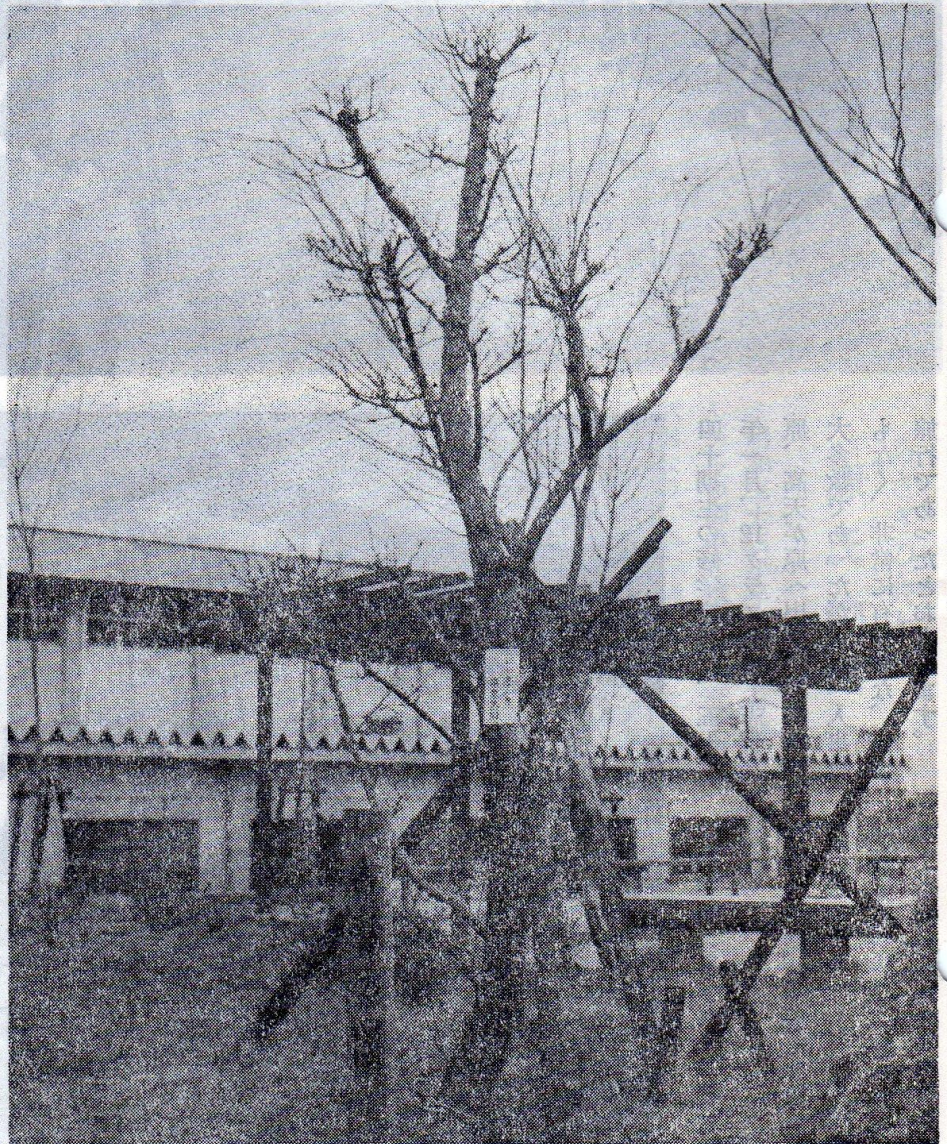
先づ冒頭に総会を秋に設定しました都合で会報発行が遅くなりました事を、お詫び致します。卒業生の皆さん、お元気ですか。今年

は酷暑がつづき、水害あり、大地震ありで、日本列島は、自然を愛する前に天災の恐ろしさを、いや

今日あるを感謝して

占春会長 河合 隼子

という程知らされました。世界情勢も北方では、ひしひしと無気味なゆさぶりを感じます。私達が味わった悲惨な戦争は、若人達には二度と味わせたくないと思えます。でも反面、自分の国は自分達で守らなければどうするのだ！ともおもうのです。



昭和58年（39期生）卒業生より、
占春の園に“しだれ梅”を記念植樹されました

清友という母校を一つの軸としてつながっています。共に平和を願いまししょう。この輪が一滴の水の輪のように、大きく大きく広がりますように。
最後に会員の皆さんの益々のご健康とご活躍を祈り乍ら、ご挨拶といたします。

58年度 総会ご案内

昭和58年11月20日（日）

午後1時 於母校

第一部 総会

会長あいさつ

校長ごあいさつ

新入会員同期代表紹介

会計報告

事業報告

第二部 河内を語る

講師 前校長、富田八郎先生

先生は河内いろはかるた迄

お作りになり、この機会に母

校の所在地「八尾」をもっと

深く知りたいと思ひ、お願い

しました。



母校だより

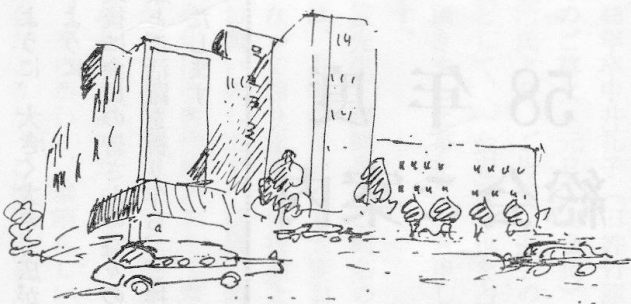
四十期生の修学旅行は、五十七年一月、12クラス全員、志賀高原、高天が原へ出発、初心者が多数であったが、誰一人事故もなく、非常に有意義な、修学旅行であったとおもいます。



寺井事務長 転任

昭和五十四年四月一日より、府立移管の重要な時期に、事務長として着任され、数々の困難な事務処理をこなしてこられました寺井久良先生が、五十八年一月一日付で府立阿武野高校へ転任されました。

後任に、大阪府民生部児童手当係長をなさっておられました松原良昭先生が事務長として着任されました。



地域社会で

文化活動!!

33年卒の七井さんが、地域のお母さん方とごいっしょに、西沢先生をお迎えして「源氏物語を読む会」を開き、もう五年近く読み続けてこられたことをお聞きしました。主婦の方々のすばらしいお集まりだと思い、西沢先生と七井さんにお願ひしてそのことを書いて頂きました。

西沢先生と

源氏物語

いづれのおほん時にか女御更衣あまたさぶらひ給ひけるなかに：西沢先生の静かな声がやさしく流れます。

有名な源氏物語の出だしの一節です。

近鉄高安駅から歩いて十分、長年先生の通われた旧清友高校の近くの住宅で、十年前から子供達の為の家庭文庫を開いていたお母さん達が、我子の成長に取り残されまいと、自分達も何か勉強をはじめたいと色々考えていた時、西沢先生が清友をおやめになるというお話を聞き、あつそれなら源氏を」と先生に御無理をお願いし

て再び高安迄足を運んで頂く様になったのが五十四年六月、あじさいの美しい季節でした。

毎月一回かたつむりよりゆっくりの歩みながら、須磨も明石も通らず、四年と三カ月、よく続いた。その間、清友の古い校舎も色々様変わりし、府立の養護学校から今では八尾北高校の仮住いになっています。

パートの仕事を持つ人、手芸やししゅうに忙しい人、そんなふだんの生活を忘れさせ、のどかな平安朝の世界に引き入れてくれるこの一刻、古稀を迎えられてもなお若々しい先生に十余人のメンバーは刺激されつつ、本当に楽しく、又？年前の授業のしんどさをちよっぴり味わっています。

先生の講義の終わった後、食事をしながら、主人の事、子供のグチなどを語り合い、なぐさめ合うこの会を出来るだけ長く、先生と共につつけて行きたいと思っています。

(あさぎの会)

あさぎの会と

源氏物語

昭和三十三年卒の七井草枝子さんからの御申し越しで、五十四年六月より、長年通いなれた高安道を、月一回歩くことになりました。

「ひまになつたら、ゆっくり私の古典万葉、源氏を読もう」と楽しみにしていたその源氏物語を、第一帖から読み始めていました時、七井さんから「源氏を」と御依頼がありましたので、何のためらいもなく喜んでお引受けしました。それ以来、毎月一回一帖ずつ、そのさわりの部分を一緒に読んでまいりました。なつかしい高安の地ではあるし、あの源氏物語だし、それに皆明るくいい方で私を待っていて下さるので、私は毎月高安へ行くのを楽しみにしています。

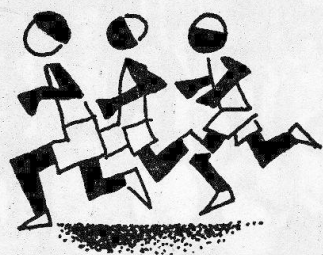
仲間は「お母さんの勉強会」ですが、後に「あさぎの会」と名づけました。「乙女」の巻で、十二才の夕霧は、父源氏の深い思慮によつてわざと六位にとどめられ、学問に精進することになりました。夕霧の着ていた六位の束帯はあさぎ色でしたので、これから勉強しようという私たちもあさぎ色だということ「あさぎの会」ということになったのです。只今

は、源氏が最愛の紫の上を失なつた悲しみの中で、やっとめざめた道心の深まりによって、出家を決意する「幻」の巻まで読み進みました。

同好の人とたのしく読み進む五十四帖の夢物語
同好の人らとともに源氏読むこの喜びのしみで思はる
いくとせを読みつぎて来し源氏はもわが老いの日の支へなりける

紫女にあやかつて、源氏を読む楽しみを持つことができたのを喜んでみます。私の楽しみを作つて下さつた「あさぎの会」の方々に感謝しながら、五十四帖の夢物語を終りまで無事読み進みたいと念じています。

(西沢 小枝)



名簿を

新しく

昭和44年に名簿が発行されてからその後、一貫した名簿が作成されていません。会員相互の要望される声も多くなり、新名簿を作成する事に決定しました。ただちに作成準備にかかりました。各学年、各クラス回期代表(クラスによつては、当番制の幹事制にしておられる)所もあるようですが、その方達は名簿の方達との連絡もとりにくい状態ですので、

住所、氏名(旧姓)、電話番号、勤務先などの変更のあつた方は各回期代表又はクラス幹事の方に連絡して下さい。あるいは、直接、占春会事務局(母校事務局内)まで連絡して下さい。

尚、卒業年度、クラス名、最終担任先生のご氏名もお忘れなく、常に会員各位が緊密に連絡をとつて、名簿作成準備に協力して下さい。お願いします。

級 会 だ よ り

一期生い組

昭和五十七年十月二十四日(日)
神戸三宮 竹葉亭に於て

十二名の出席で賑かさは相も変らずでしたが、話題はかつての思い出話にとって変って登場して来たのが健康食、健康法、お孫さん等の事が中心で、クラス会への注文は和食、交通の便よく、駅に近く、要するに歩かなくてすむところ、駐身場付きと贅沢この上ないのですが、これも人間しか持ち合せない思いやりの心、いたわりの心で皆様の御希望にそうべく幹事は懸命です。

此の楽しいクラス会を何時までも続けて行きたいと念じ「喜和会」と名付けています。

本年は十月十四日(金)

大阪 北乃大和屋
でと目下準備中です。

尚昨年写真がありませんので一昨年、宝塚 水琴亭(田中典代様宅)でのものですが、すこやかに、美しく年を取って行っているところを見て頂きたく載せてさせて頂きました。

小林慶子



一期生る組

とき 五十七年六月三日(木)

ところ 吉野 八木屋旅館

右の行を御覧になって懐かしい。とお思ひの方は二期、三期生の方々までかしら。あの戦時中に、たった一つ許された林間学校という楽しい行事がそこであったのです。

一期生の私は当時の友人数人と四月十二日、吉野へお寺詣りと、お花見に出かけました。その時です。八木屋旅館の前でみんなが、思わず立ち止まりました。四十数年間のタイムトンネルを一瞬にして、馳けぬけた様な感動でした。

「よし、今年の級会は絶対ここ」と決めての呼びかけでした。出席は、西沢先生と共に十八名です。沢山のお料理を目の前にして「あの時は、お米を持って来ましたネ」とか、「おトイレが深くて怖かった」とか、年令を忘れてとて賑やかな一時を過ごしました。

当時のおかみさんも八十才を過ぎられましたが、お元気で御挨拶を下さり、「おじいちゃんが、生きていたらどんなにか喜びましたるうに」と喜こんで下さり、遠くまで足をのばした甲斐がありました。

「写真をごらん下さって、お気付きでしょうか。科基さんは、お孫さんを連れて御参加です。これからも孫付きの御参加歓迎です。

同じ思い出をお持ちの方々、あのラジオ体操をした勝手神社のそばです。一度おたづねになるのもよろしいかと思ひます。御参考までに電話番号を書いておきます。〇七四六一三二一三一六一です。

幹事 河野・松谷



二期生い組

五十八年三月八日、久々にグランドビル二十七階、白楽天にて、クラス会を開催しました。案内状を二十通出した内、出席者は八名でした。稲部恭子、小野幸子(中野)、河合聿子(村田)、竜田和子(高橋)、宮本美保子(義若)、両国枝味子(堀)、茂莉歌子(坊中)、中井仁子(平原)。息子や娘達の話、それに孫の自慢話、亡くなった主人の話、今年の幹事は二人共、未亡人になってしまいましたから、笑ったり、しんみりしたり、何者にもなっても、クラスメートっていいものですね。これから出来るだけ逢う機会を作りましょう、と散会しました。欠席された方、又住

所不明の方、是非再会出来ますよう、住所をお知らせ下さい。今度は、い組ろ組合同で逢いませんか。

幹事 茂莉(坊中)

中井(平原)

三十六年卒業

B組宗平学級

日時 五十八年七月十日(日)
場所 石切ホテルセイリュウ
出席者 原田彰先生、宗平先生
以下十五名

第十一回同窓会 寄せ書より

「はじめに宗平学級の同窓会出席、大変よろこんでおります。一年の時だけの担任だった昔々のことでも」原田 彰」

「美人ぞろいみんなの顔を見て、本當にうれい。この会がいつまでも続くことを「宗平十三郎」
「一年に一回楽しみの日」小野 泰子」

「毎年元気で明るく楽しく話せる日が楽しみです」村上朋子」

「初めて出席させて頂き皆さんにお目にかかれてうれしく思ひます」杉原昭代」

「四十一才になりました。老眼をかけるようになってとても残念です。来年も楽しみにさせて頂きます」近藤隆子」
「来年も元気に出席したいと思

います”平井宏美”
 「卒業してから二十一年ぶりです。宗平先生、原田先生にお会い出来ました。少しも変わっておられないのにびっくりしております”中谷操”

「久しぶりに宗平先生、原田先生にお会いして昔と少しも変わっておられないのにびっくりやら喜びでいっぱいです。来年もお会い出来るのを楽しみにしております”寺西敏子”

「この頃は毎日家の中にとじこもっていますから、近くへこれらたら寄ってネ”仲家ヨリ子”

「毎日元気に働いておりますのになかなかスマートになれないのが悩みの種です”上岡明美”

「皆さん少しも変わっておられない様子なによりです。この会が長く続きます様に”松田孝子”

「毎年皆様にお会い出来るのが楽しみです。四月に病気をして二週間入院を致しましたが、またこの通り元気になっております。少しはスマートにと…又元にもどったみたい”業天俊恵”

「野崎参りの観音さんに近いところに住んでおります。近くへこられました折はぜひお立寄り下さい。この会が末長く続きますようにお祈り致します”柿木保恵”

「毎日元気で頑張ってます。私方商売して居りますのでそ

の方に勤めて居ります。子供相手です。他人の子供様でも益々大きくなって行かれるのを見ているだけでもうれしく思います。皆様方に会えて本当によかったです。スカタン先生にも何年ぶりかです。今日は最高です。じゃ又ね!!”峯洋子”

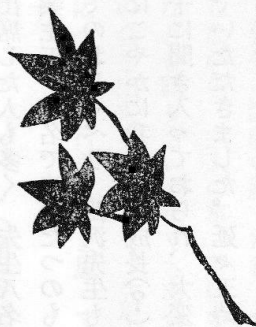
「タナバタ様みたいに一年一回皆様にお会い出来るのがとても楽しみです。ずっと家にいますので、ヒマな方あそびにおいで下さい。又来年お会い出来るのを楽しみにしております”吉川春美”

「来年の再会を約束して明日から又元気で頑張ろう”田中典子”

皆なが楽しみにしているこの会がいつまでもいつまでも続きます事を祈りつつ……

次期幹事、柿木、峯、大田様です。年一回の集りにまだ出席された事のない方は是非来年は出席してネ。十年は若返えるわヨ!!

では来年又お元気で逢い出れますように。



36年卒B組
宗平学級



きずな40号

記念号

おめでとう

昭和37年卒3Cクラスの方は

「きずな」というクラス会誌を、卒業以来、原田彰先生を中心に、発行しておられました。昨年は、卒業20周年「きずな40号記念号」を発刊され、一寸拝借しました。頁を繰る程に、読む程に、胸が熱くなってきました。少し抜粋させていただきます。

④きずな39号で提案しました40号原稿が跡絶えて心配していましたが、6月13日に4クラス合同クラス会を皆さんの協力のお蔭で開催する事が出来ました。在校当時の先生方にお一人でも多く参加して頂こうと招待状を送らせて頂き、その折のお返事やら、「きずな」へのお便り等を掲載させていただきますました。

⑤忘れた頃にほのぼのとやってくる「きずな」どんなことが書いてあるのかなと楽しみながら読みます。卒業以来20年になる事を知りました。自分が40才近くだとは信じたくないですね、ホント。今小学校二年、三年の二人の息子がいます。PTA活動についてはい

ろいろと問題、考え方があって大変です。広報委員になってみなさんと楽しくやっています。子供と共に再教育の今、自分を見つめることが出来る人生一度いや二度目もあってしかるべきの感があります。皆様お元気で。

☆次号からCMがはいります。希望者はどうぞ、広告料は無料! ☆適当にイラストもはいり…… 最後の方の頁には、ユーモアたっぷりの替唄がありました。

「蔵王の山男」替唄

一、ついに卒業となったけど 思い出すのはあの先生

なつかし数学今もなお 頭にうかぶは四角面 ああなつかし敏先生

二、色は黒くてよくどなる

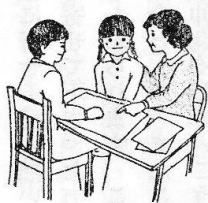
丸い眼鏡をちよいとかけて みんなの為だと気を使い

三、色が白くて気はやさしいつもユーモアたっぷり

みぶりてぶりもいそがしく みんな学んだ英語です

四、まんるいお顔にゴマ塩ポツリ

ですわですわと今日もなお ぶつりぶつり言うけれど 皆はコツクリ舟をこぐ ああすまない申し訳ない



きずな40号
記念号の
CM募集頁!!

占春会員の皆様、こんにちは。
私達三十八年度生は来年二月で卒業二十年を迎えます。そこで何かに残ることを思いまして記念文集を作りました。先生方、卒業生総数五十名の人が近況報告、近頃思うことなど書いて、百二十ページの心暖まる文集が出来ました。
そして去る九月十五日、なにわ会館にて文集完成を祝して同窓会

文集をみて！

まだ暑いさなかでした。数テル子様が「賛助金を預かりましたの
でお届けにきました」とわざわざお立ち寄り下さり、「会報のこと
気になっていきますの」と申しまし
たら「私達、来年で卒業以来、二
十周年を迎えますので、お互いに
近況報告のような形で、記念誌を
作りましょう、と呼びかけました
ら、皆さんどしどしお手紙を下さ
いました。只今製作中です」途
端に私の目はキラキラ、「完成な
さったら是非お貸し下さい」。九
月お彼岸すぎ届けて下さいまし
た。うすむらさき色をした表紙に
、見事な筆跡で「樹」とかかれ
（石井慶子様書、だそうで）内容
もそれぞれの個性も豊かに、とて
も立派なものでした。

を開きました。はじめて同窓会に
出席した人も多く、先生八名、卒
業生五十二名で時のたつのも忘れ
てのおしやべり、西沢先生も終始
にこやかに我が子の成長(?)の様
子に聞き入っておられ、大変喜ん
でいただきました。延々五時間の
同窓会、また会える日を楽しみに、
元気でねと帰路につきまし
た。

三十八年度生 幹事一同

一寸ご披露させて頂きたい。

はじめに
卒業してはや二十年を迎えよう
とされています。皆様いかがお過し
でしょうか。二十年も経つと、
人、それぞれの道にいろんな出来
事があった事だろうと思います。
喜びに満ちた楽しい日々、歯を喰
いしばって悲しみをこらえた日、
そんな思い出して下さい。私には
友達がいるんだと……そして一人
ぼっちじゃないんだと……
友達と会って無邪気(?)におし
やべりしたり、悩みを聞いてもら
ったりして命の洗濯をするので
す。そんな時いつも思うのです。
やっぱり学生時代の友達はいいな
あーと。
同窓会はそのためにあるのだと

思います。着飾ってすまして、話
をするのでは面白くありません。
普段着で、気どらず、時候のあい
さつもなしでなにかからでも話し合
えます。
この文集に寄せる熱い熱い思い
が、原稿を寄せて下さった方以外
にもたくさんおられます。この文
集をよい機会として、またこれか
らもうんと仲良くしていこうでは
ありませんか。

世話人一同

☆つづいて、第一回全クラス同窓
の写真から、第二回、第三回と会た
のしい写真の頁が続いています。
☆あれから二十年
同窓会はいまー

☆はるか遠い山形の土地にお住ま
いで、さくらんぼのまっ盛り、冬
の雪かきの様子やら、四季おりお
りの自然の風景の様子、それでも
心が大阪に飛んでいます、と結ん
でおられます。
☆早いもので卒業して20年、もう
そんなに経ったのかなあ、という
感じですね。現在結婚して14年、子
供なし、私の一日は食料品やお菓
子をおいている店番で始まりま
す。この方はお子供様はいらっし
やらないが、子供に振りまわされ
ている若いお母さんを、はがゆい
思いをしてみてもらえるように
す。でも、よそのお子様をとて
大切に気を使っておられる様子が

うかがえます。
☆子育ての時期もホッと一息、5
年前からソフトボールに打込んで
おられる方、上手にはなれませんが
とても楽しく、大会等では、学
生時代ソフトボール部にいたお友
達と会って言葉をかわすのも楽し
みにしています、と。
☆今私は学習意欲に燃えている。
というのは、今年の四月から半年
間、職業訓練所の生徒であり、又
一年間、書道講座の受講生でもあ
る。高校時代勉強をさぼっていた
分、今頃になって甦ってきたのだ
ろうか、みんなどうしてんのかな
鏡をみて、卒業して二十年はうな
ずける、頭には白いもの、顔には
シワが目立つ、でもブスはブスな
りに一本一本のシワにいい人生を
涙み込みたいと思っている。

☆仕事、趣味、子供会や地区の委
員、中学校の役員の仕事、目の回
るような忙しさを何とかこなして
やっとな一段落、一息ついたとたん
ダウン、手術、入院、幸い順調に
快方に向われて病院からの近況報
告、一日も早く退院される事を皆
で祈りましょう。

☆ご家族の紹介をされている方も
あり、ついでに同居のワン君を、
次男として紹介、ダルマシヤンと
いう犬で名は(ラック)だそうなの
信太の森のムツコ様は、高橋貞子
文化学院の手あみ、くみひもの講

師をしておられるそうなの、一度、
訪れてみよう。
☆大阪、東京、徳島、大磯と数回
引越されて、今はすっかり大磯の
人、家族ぐるみでテニスをされて
ご主人やお子様から、日に焼けて
黒い顔のお母さんに「ひまわり夫
人」といわれてニッコリ、遠い大
磯から、秋の同窓会をたのしみに
待っておられる方。

☆沢山のご家族の所へ嫁がれて、
お姑様のご看病そして別れ、又義
弟の看病そして別れ、大変でした
ね、結婚されて十五年、随分大変
でしたね、看病しておられる時も
自分が健康だから出来るのだ、と
言ってこられたあなた、自作のパ
ッチワークの前で写しておられる
写真を拝見しました。私には、慈
母観音さまのようにみえます。

☆バンコックから、航空便でとど
いた近況報告、ご主人と三人のお
子様、ご家庭では出来るだけ日本
語で話すようにされていらっしや
るけれど、学校ではタイ語で話さ
れるよう、教育制度も日本と同
じで、六、三、三制だそうです。
熱帯の果樹や、鮮やかな色をした
熱帯の花々に囲まれて、しっかりと
と地面に足をつけて生活しておら
れるよう、うれしくおもいます。
メナム河の流域の、美しい寺院、
河(にごっているが)で髪を洗っ
ていた乙女の姿を想い出します。

☆このあと恩師のたよりの頁があり、最後は、この学年の卒業生名簿がキチンと印刷されています。皆さんこれは掲載されている近況報告のほんの一部ですが、ああ私もこの人と同じような毎日なんだなと思われる個所もあるでしょう。どうぞ皆様ご自分を大切に、いつまでもお幸せでいらっしやるように。大切な文集ありがとうございます。どうぞいりました。



「文集の中のページ」

お子様の作文とイラスト

私のお母さん、五年 西川 静恵

私を産んでくれた
お母さん
おこるとおにのようになる
お母さん
でも、やっぱり
お母さんが大好き
いつまでも
健康で長生きしてね
そして これからも
いっしょうけんめい
がんばってね ♡

二十七年度卒

昨年十二月の中旬に、天王寺の松村にて、二組合同の同窓会を行いました。

西沢先生と斉藤先生をお招きした二十人足らずの集りでした。今もなお、ご活躍されている先生方のお姿は、毎年一才ずつお年をマイナスされているようで、私達は大変励まされました。鍋料理に舌づつみを打ちながらの楽しい話のひとときを過ごすことができました。

27年度卒 長井

三十七年合同クラス会

昨年六月、卒業後20月目の学年全体の同窓会に参加させていただきました。大阪府に移管されて、懐かしい高安から千塚へと校舎も移り、初めて新校舎にまいりました。白亜の随分立派な校舎にびっくりしました。卒業以来一度もお会いしていなかった先生方やお友達にお会いできて、20年たっているのが不思議なような、先生方のごあいさつをおききして昔と少しも変わっておられないのがとても嬉しく思いました。私達も最初は少し固くなっていましたが、時間



37年卒 辻 玲子

がたつにつれ、お互い昔に逆戻り、ワイワイ・ガヤガヤと時のたつのも忘れられました。先生に学校の現状をおききました。男女共学にも多く生徒数も増えると澄々問題も女子校よりも共学である為の長所も沢山あるとおもいます。私達の中にも、もう高校生のお子様をお持ちの方もいらっしゃいます。子供に「お母さんほどこの高校を卒業したの」ときかれても、堂々と「清友高校よ」といえる益々立派な学校に発展して下さる事を祈りつつ、又お逢い出来るのをたのしみにしております。最後にお世話していただいた役員の方々、本当に有難うございました。

昨年11月20日学年代表会で、昭和49年度卒業以前の卒業生については「占春会報」購読希望者は「追徴金」一口三〇〇〇円以上お振込下さい。とお願いしてきましたが、非常に言葉がきつく感じられるので、以後「賛助金」と改名することに決定しました。続けて受けつけております。

大阪33204 (郵便局)
占 春 会 (振替口座)
(一口3000円以上)
卒業年度をお忘れなく!!
電話番号

会報十四号に掲載以後に賛助金御協力頂いた方
昭和二十年卒
永野美代子 中喜美子 田中久栄
築谷久子 安部幸子 堤元栄 高浦節子 森本智子 谷口富美子
小田喬子 日垣和子
昭和二十一年卒
宮本美保子
昭和二十三年卒
玉本スマ子
昭和二十六年卒
福田嘉代子
昭和三十年卒
中田益代
井上幸子 中村須恵子

昭和三十六年卒
阪井恵美 明谷太美子 大橋公子
国本須美子 上野嘉子
昭和三十七年卒
福田京子 中倉康代 江崎圭伊子
野村佐知子 中西寿栄 竹島勝子
岩橋洋子 広瀬阿津子 辻喜代子
菅生幸子 浅田章子 鈴木久美子
井上義子 城内由美子 渡辺祥子
佐藤道代 岡田セツヨ 竹村延子
室屋喜美子 熊田喜代美 林田睦子
衣川清美 高工美恵子 河辺照代
昭和三十八年卒
浅井アツ子
昭和三十九年卒
松下ヌイ子 森田洋子 徳永敬子
吉原絹子 松田千恵 辻井勝子
和束美代子 菅原芳子 宮崎千鶴子
昭和四十一年卒
杉原良子 森本早智子
昭和四十二年卒
清原治子 亀田恵子
昭和四十三年卒
新木操
昭和四十四年卒
花房久美子
昭和四十五年卒
山中智子 中村ひとみ
昭和四十八年卒
木下悦子
卒業年度不明分
上田真規子 原田晴子

ご寄附者氏名
植木功子 塩本久美子 安部幸子
長井君江 築谷久子 阪井恵美
上田真規子

記載洩れと誤字のお詫び
二十年卒河野恵美子 二十六年卒岡田佳代子 三十六年卒松尾博子 三十八年卒平田了子 四十五年卒の松村登美子は松村喜美子 二十六年卒の大西好子は大西妙子です 四十二年卒の松井節子は四十年卒同じく植田澄江は四十三年卒 同井上千家子も四十三年卒 四十三年卒鹿田倫子は四十四年卒です。種々手違いのございました事、お許し下さい。

フレッシュな

若い卒業生との対話

対話

9月22日、総会準備の為、回期代表の方達を召集しました。58年卒業の新人会員の人達との対話
問 社会に出られて半年近くになるけれど今の心境は?
答 学生時代は早く卒業したいとおもったが、それぞれ社会へ出てもう一度、学生時代に戻ってみたいように思うこの頃です。
問 ということは、社会ってそんなに大変?
答 学生時代の先輩後輩というの

は一年上とか一年下とかだけやけど、職場での一、二年上はライバル意識があつてとても大変です。古い先輩は恐ろしいけれど、きびしい道を通ってきた人だから、恐さの中にも暖かみがあるし、よく指導して下さる。それに一つの仕事で責任を持たされると、大変やけどやり甲斐がある。

私の感想は彼の成長ぶりを楽しみにしていく。頑張れ。
問 今日の会合に出席してどう思った。
答 学年会に出席してみて、僕等の学校は歴史のある学校だなと思った。一体僕等は何期生になるのですか。

私あ、そうやねー今通算となつているものね。(あわてて今年の名簿見る)
あなた達39期生よ、覚えていてね。
問 校章のいわれ知っていますか?
答 知りません。私そこで校章の説明をする。厳寒に堪えて凛と咲く梅、清冽な水の流れ、さながら、人生とはかくあれ、苦しさに堪え、清き心であれば、最後には必ずや、己れ自身に勝利をもたらすであらうと、それが校章の意味である。大事に残しておいて

下さい、と。
問 校歌うたう時、女の方は歌いやすいでしょうか、男の方がかか。
答 平気で歌えますよ。高い所でも声らくに出せますよ。
57年58年卒の人達10名出席してくれました。ありがとうございます。10年後の清友は、この人達も土台になって活躍してくれるでしょう。
清友よ、占春会よ、永遠なり。今日程嬉しく感じた事はありません。

編集後記

☆ 48年卒中井礼子(旧姓竹原)さんのご尊父(元PTA会長)竹原清治氏より、ご母堂ご逝去の粗供養として、一金壱万円也を占春会に頂きました事をご報告申し上げます。
☆ 籾先生、藤岡先生ご両名の先生には、占春会はいつも大変お世話になっております。今後共よろしくお願い致します。役員一同。
☆ 今年は会報作成がおそくなりましたので、母校だよりの頁が少なくなり申し訳なくおもっています。そのかわり、素晴らしいクラス会だよりが、ご披露出来たと自負しております。文集、会誌等のご協力ありがとうございます。